

子供たちは何を読むのか

— 文学作品・子供・教師の響き合いをめぐって —

文学教材の〈読み〉の授業は、文学作品、子供、教師の三者が響き合うことで立ち上がる世界の現れであるといえます。では、あまんきみこ「おにたのぼうし」の授業では、どのような〈読み〉の世界が現れるのでしょうか。

二人の小学校の先生による実践発表をもとに、『おにたのぼうし』という教材の可能性、個々の子供たちの中での読みの変容、教師の働きかけについて、参加者の皆様とともに考えます。

現場の国語教師、国語教育研究者、文学教育研究者など、文学教材の授業に関心のある方であれば、どなたでもご参加いただけます。**Zoomによる無料参加**です。ぜひお気軽にご参加ください。

日時

7月26日(日)

12:00 受付開始 12:30~16:30

公開研究会プログラム

1 提案者 (各40分程度)

- (1) 黒瀬貴広 山梨大学附属小学校
(2) 入澤佳菜 奈良教育大学附属小学校



2 指定討論者 (各20分程度)

- (1) 山中勇夫 兵庫教育大学 助教
(2) 山下航正 大分工業高等専門学校 准教授



3 フロアーからの討議 (1時間30分程度)

参加者の皆様からのご意見、ご質問をもとに、「おにたのぼうし」の授業づくりについて自由に語り合います。



当日スケジュール(予定)

受付	12:00 ~
挨拶・日程説明 山本富美子	12:30 ~ 12:40
提案① 黒瀬貴広	12:40 ~ 13:20
提案② 入澤佳菜	13:20 ~ 14:00
休憩	14:00 ~ 14:15
指定討論① 山中勇夫	14:15 ~ 14:35
指定討論② 山下航正	14:35 ~ 14:55
フロアーからの討議	15:00 ~ 16:30

主催 「文学研究×国語教育」の会

全体進行
山本富美子

司会(開会挨拶兼ねる)
中村 龍一



文・あまんきみこ
絵・いわさき ちひろ



Zoomによる
無料参加

オンライン開催

どなたでもご参加いただけます

- ✓ 現場の国語教師
- ✓ 国語教育研究者
- ✓ 文学教育研究者
- ✓ 教科書出版社の方
- ✓ 教育行政関係者
- ✓ 民間教育に携わる方など

お申し込みはこちら

